

「どうありたいのか、
何を目標にしているのか」
に寄り添える医師をめざして

お医者さんに聞きました！

病気を抱えていても患者さんの

私が脳神経内科医を志した理由は、当時は女性医師の割合が少なく、また、後遺症や特効薬が少ない疾患（脳卒中やパーキンソン病などの変性疾患）が中心であったからです。そのような状況であっても、患者さんが少しでも快適に過ごせるよう、少しでも明るい未来を描けるよう、何かサポート出来ればという思いから、この道を選びました。

唐津赤十字病院 脳神経内科 医長

岩崎 めぐみ

はじめに

脳神経内科医として唐津地区の診療に携わって6年になりました。それまで当院の脳神経内科は非常勤医で対応していたため、体制としては今より十分ではなかった点も多かったと思います。今は各診療科と連携させていただきながら、患者さんの治療にあたっています。

私は九州には親戚など縁もゆかりもないところから佐賀医科大学へ入学したことがきっかけで、すでに人生の半分以上は佐賀にすることになります。今後も佐賀の診療にずっと携わっていきたいと考えています。

脳神経内科は、時に皆さんが聞いたこともないような稀少疾患を扱う科になりますが、私は頭痛と認知症の診療に特に力を入れており、それぞれの専門外来を開設しました。今回はそのふたつの外来についてご紹介いたします。

頭痛外来

以前は検査をしても異常がなければ「ただの頭痛」「誰にでもあるもの」として扱われ、痛み止めを出されるだけという状況で、それで終わらせていいのだろうかと感じていました。片頭痛はどうしても女性に多い疾患ですので、女性が女性を診ることで患者さんも相談しやすいのかなと思い、立ち上げました(男性の頭痛専門医が担当する日もあります)。当院の頭痛専門外来では、患者さんの症状や生活スタイルをじっくりとお伺いし、頭痛の原因を特定します。頭痛には様々な種類があり、その原因も様々です。慢性頭痛や片頭痛、緊張型頭痛など、タイプによって治療法が異なります。適切な治療を行うことで、痛みから解放され、快適な生活を取り戻したり、うまく付き合っていく方法を提案したりすることができます。最近では、片頭痛に対して新たな治療薬が登場し、以前よりも少ない副作用で症状を軽減できる可能性が高くなりました。たかが頭痛と思って自己判断で薬を使用するのではなく、ぜひ一度、専門医の診察を受けてみませんか。

もの忘れ外来

「認知症」と聞くと、遠い存在のように感じる方も多いかもしれません。しかし、認知症は決して他人事ではありません。高齢化が進む現代社会において、認知症患者は増加傾向にあります。もの忘れが気になり始めた段階で治療を始めれば、進行を遅らせることができる薬も登場しています。当院では、佐賀大学病院の医師と一緒に認知症診療にあたっています。認知症の早期発見・早期治療は、長い人生を豊かに過ごすためにとても重要です。「少し忘れっぽくなったかな」と思ったときはぜひ受診を検討してくださいね。

ありがたいことに、メディアや講演会などで頭痛外来・もの忘れ外来についてお話する機会をいただいております。それだけ皆様が普段お困りの病気なのだと実感しています。

患者さんに寄り添うことが基本ではありますが、病気を抱えていても、どうありたいのか、何を目標にしているのかなど、意思を確認して、お困りごとを共有してもらいながら治療にあたるようにしています。

いままでも、これからも、佐賀県の脳神経内科の疾患でお困りの方が少しでも快適に過ごせるよう、少しでも明るい未来を描けるようにサポートしたいという思いは変わりません。

プロフィール

profile

H20 佐賀大学 卒業

- ◎ 日本内科学会 認定医・総合内科専門医・指導医
- ◎ 日本神経学会 指導医・専門医
- ◎ 日本認知症学会 指導医・専門医
- ◎ 日本頭痛学会 専門医
- ◎ 日本脳卒中学会
- ◎ 認知症サポート医





クリスマスコンサート開催！！



20日

今年は、音楽家の方(唐津市出身)と職員が出演し、ハンドベルやギターの音色、美しい歌声をお届けしました。コンサート会場は多くの方で賑わい、優しい音色とたくさんの笑顔に包まれた、心温まるイベントとなりました。患者さんや、ご家族の方に心安らぐ時間を提供したい、日ごろ赤十字の活動を支えてくださる皆さんに感謝の気持ちを届けたいという思いがきっかけとなったクリスマスコンサート。これからも、このイベントを“みらい”に繋げていきたいです。



ACTIVITY REPORT

12月

唐津赤十字病院に クリスマスがやってきました



小児科クリスマスプレゼント



25日

世間はクリスマス一色に染まり、サンタさんが来てくれることを楽しみに待っている小児科患者さんのもとに、今年もサンタさんに扮した職員がプレゼントを届けました。いきなりの登場にびっくりして、泣き出してしまうお子さんや、クリスマスツリーの煌びやかな装飾にも負けないキラキラな笑顔を見せてくれるお子さんなど、様々な表情を見せてくれました。入院生活は辛く大変なことも多いけれど、プレゼントをもらって少しでも明るく元気になってくれたら嬉しいです。



第14回市民公開講座 「がんにかかわるお金のはなし」

令和6年12月14日(土)

5年ぶりに対面での市民公開講座を当院佐野講堂にて開催し、80名以上の方にご参加いただきました。

今回は『がんにかかわるお金のはなし』をテーマに、肘井社会福祉士、伊藤社会福祉士が講演を行い、治療費に関する疑問や心配に対して、高額療養費制度など利用可能な制度を踏まえ、わかりやすく解説しました。加えて、がんに関する情報を取り扱うブースや体験コーナーも設置し、参加された地域の皆さまにがん診療に対する理解と関心をより深めていただけたものと思います。



病院がプラネタリウム

令和6年12月

一般社団法人星つむぎの村さんに出張プラネタリウムに来ていただきました。4mのエアドームのなかは日常では感じることのできない満天の星が広がっており、小児科外来や入院中の患者さん、スタッフが院内での星空を見上げ、感動で涙された方や「今日、病院に来てよかった」と笑顔でその映像と解説を楽しまれました。星を通じてみんなが元気をもらうことのできるとても貴重な時間を過ごすことができました。



お知らせ

相談窓口 [患者サポートセンター | がん相談支援センター | 脳卒中相談窓口] のご案内

療養や生活上の不安、社会福祉制度の利用、がんに関することなどの相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。(相談は無料です)

+唐津赤十字病院 1階8番窓口 [患者サポートセンター／がん相談支援センター]

Tel.0955-74-9135 [直通] 受付時間9:00～16:00 [土・日・祝日を除く]



基本理念

- 安心な医療
- あたたかい看護
- 地域への貢献

基本方針

- 患者さんの人権を尊重します。
- 救急医療やがん医療の充実に努めます。
- 災害救護に貢献します。
- 質の高い医療と看護を提供します。
- 地域医療連携を推進します。
- 健全で安定した経営基盤を確立します。



唐津赤十字病院

日本赤十字社



唐津赤十字病院

検索